

2021年1月4日新春街頭演説 村田議員

新年あけましておめでとうございます。宇都宮市議会議員の村田雅彦です。街頭演説に先立ちまして、新型コロナウイルス感染症拡大防止に対し、懸命に取り組まれている医療関係者・介護関係者の皆様に深い感謝と敬意を申し上げます。

それでは、宇都宮市議会公明党議員会を代表して、市政報告をさせていただきます。

昨年当初より激化した新型コロナウイルス感染症の影響で、市民生活は多大な影響を受けました。政府が発表した、各種の支援策の不足する部分を宇都宮市がカバーする独自支援策を打ち出しました。しかし、ご自分に合った支援策の選択が難しいため、4月に公明党議員会で「まとめ一覧表」を作成し、公表しました。

5月臨時議会では、新型コロナ対策の為の補正予算について審議し、私（村田）が、会派を代表して質疑しました。6月定例会では、菅野議員が一般質問に立ち、マイナンバーカードの活用など、新型コロナ関係に絞って質問しました。9月定例会では、成島議員が一般質問して、防災・減災や子育て、ドクターカーについて質しました。先月の12月定例会では、金沢議員と私が一般質問しました。金沢議員は市長の政治姿勢、LRT、子育て支援などについて

て質問し、市長より「本年4月から子ども医療費を、高校3年まで、現物給付（現行）方式で無償化されること」が示されました。

私は、2酸化炭素濃度測定器の導入で“換気の見える化”や、地域新電力会社による地球温暖化防止、市内の観光拠点開発、予防医療の推進などについて質問して「地域新電力会社が継続的に再生可能エネルギーを購入できる仕組みの検討を進める」と答弁を得ることができました。また、市内の映画やテレビなどのロケ地やアニメゆかりの地があり、見学ルートを整備して観光資源化する事の提案に対し、佐藤市長は「スマートフォンによる位置情報と観光情報を合わせて把握できるデジタルマップを導入し、周遊バスも検討しながら周遊促進を図る」と答えました。

予防医療の促進については「ワクチンの正しい情報提供に努めると同時に接種率向上のために着実に周知・啓発を実施する」との回答を得ることができました。

宇都宮市に於いても、昨年末から急激に新型コロナの感染拡大があり本日も39件、累計569名の感染が報告されています。重大な局面を迎え対策の徹底が必要です。新型コロナの収束が経済の再生、日常生活の回復にとって欠かせません。宇都宮市公明党議員会は、地方自治体の両輪として、なす

べきことを全力で推進してまいります。本年も温かいご支援を公明党により  
しくお願い申し上げます。